岩田川水系（小川・おごえ川）流域
洪水ハザードマップ

このハザードマップは、小川・おごえ川が大雨によって洪水になった場合の浸水想定区域（三重県県土整備部作成）に基づいて、流域で想定される浸水範囲とその程度や、各地域の避難所等を示したものです。

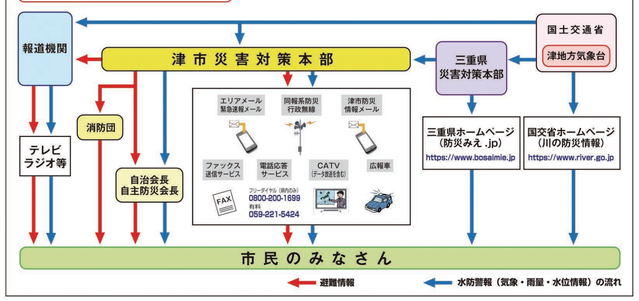
1）対象とした降雨
想定最大規模の降雨（現状の科学的な知見や研究成果を踏まえ、ある程度の蓋然性をもって想定し得る最大規模のもの）
［小川・おごえ川流域の24時間総雨量836mm］

2）洪水浸水想定区域は、マップ作成時において小川・おごえ川（三重県管理河川）の河道整備状況等を勘案して、対象とした降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

3）洪水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川の整備状況により変化することがあります。

この地図上で色がついている区域は、大雨により浸水するおそれがある区域です。特に家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水深が深い区域においては、避難情報に従って当該区域から安全な場所に速やかに・確実に立ち退いてください。

避難情報・気象情報の伝達経路



事前の心構えと避難の心得

◆家のまわりを点検・整備

家の前の排水溝が詰まっていないかの確認や風で吹き飛ばされる物の撤去等が必要です。

◆家庭でできる簡易水防

浸水深が小さいときは、下記のようにすることで、水の浸入を減少させることができます。
・大きめのゴミ袋やポリタンク等に水を入れて、水の浸入口となるところに並べる。
・プランターをつなげて水の浸入口となるところに並べる。
・換気の桝と土嚢で簡易の止水板を作る。

◆安全な避難路の確認を

避難場所等までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

◆正確な情報収集と早めの避難を

テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。危険を感じたら早めの避難をしましょう。

◆二人以上の避難を

避難するときは２人以上で、隣近所への声かけをしましょう。

◆氾濫水は勢いが強い

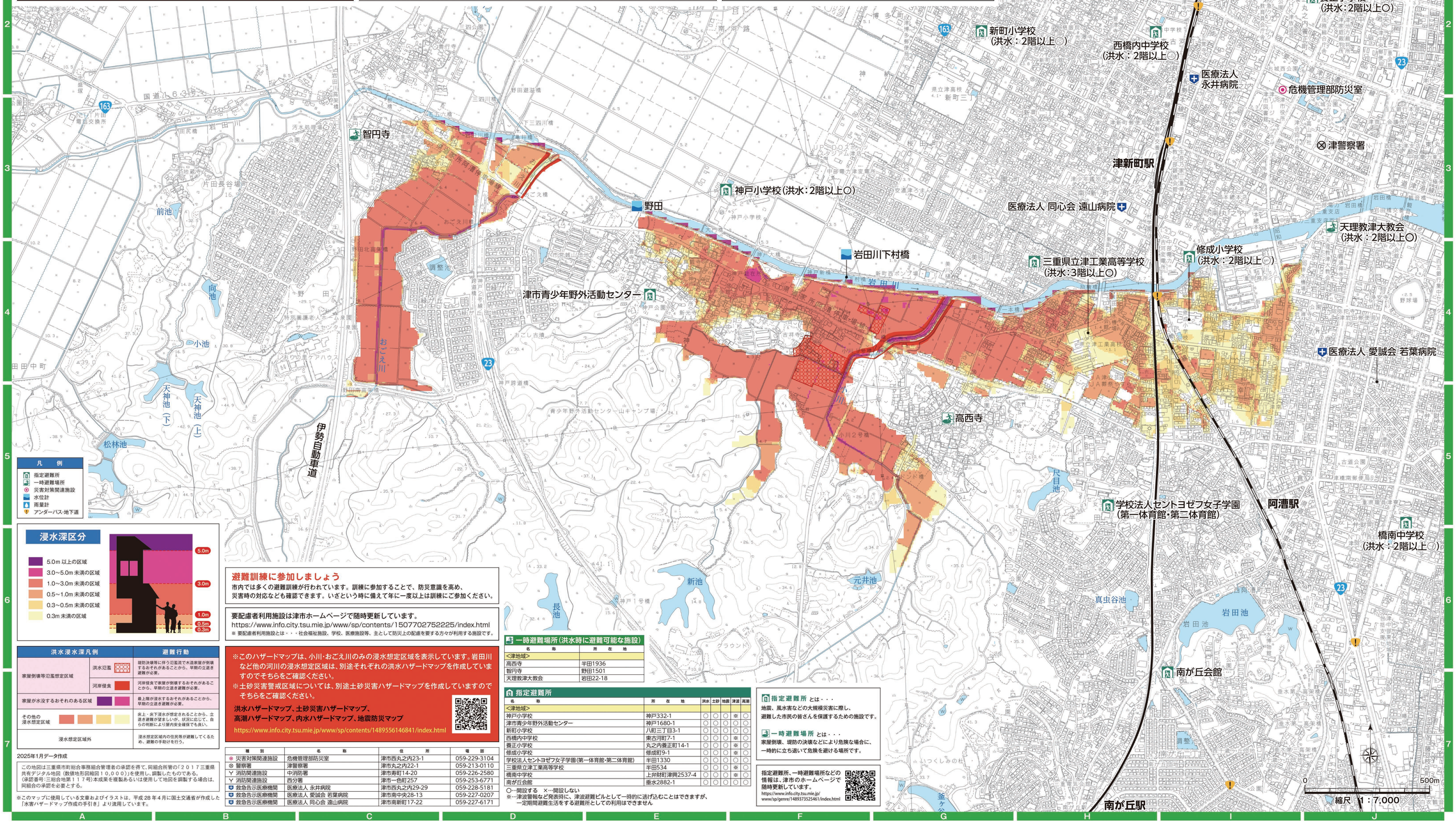
氾濫水は、勢いが強く水深が膝程度あると大人でも歩くのが困難です。緊急避難として、高い堅牢な建物にとどまることも選択肢の一つです。

非常持ち出し品の事前準備をしましょう

避難時の心得

○動きやすい格好で

持ち物は手が自由になるリュックで、長靴よりひも付き運動靴で避難しましょう



浸水深区分

- 5.0m 以上の区域
- 3.0～5.0m 未満の区域
- 1.0～3.0m 未満の区域
- 0.5～1.0m 未満の区域
- 0.3～0.5m 未満の区域
- 0.3m 未満の区域

洪水浸水深凡例		避難行動
家屋倒壊等氾濫想定区域	洪水氾濫	堤防決壊等に伴う氾濫流で木造家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
	河岸侵食	河岸侵食で家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
家屋が水没するおそれのある区域		最上階が浸水するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
その他の浸水想定区域		床上・床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましいが、状況に応じて、自らの判断により屋内安全確保でも良い。
浸水想定区域外		浸水想定区域内の住民等が避難してくるため、避難の手助けを行う。

2025年1月データ作成

この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「２０１７三重県共有デジタル地図（数値地形図縮図１０，０００）」を使用し、調製したものである。（承認番号：三総合地第１１７号）本成果を複製あるいは使用して地図を調製する場合は、同組合の承認を必要とする。

※このマップに使用している文章およびイラストは、平成 28 年 4 月に国土交通省が作成した「水害ハザードマップ作成の手引き」より流用しています。

避難訓練に参加しましょう

市内では多くの避難訓練が行われています。訓練に参加することで、防災意識を高め、災害時の対応なども確認できます。いざという時に備えて年に一度以上は訓練にご参加ください。

要配慮者利用施設は津市ホームページで随時更新しています。
https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/sp/contents/1507702752225/index.html
※ 要配慮者利用施設とは・・・社会福祉施設、学校、医療施設等、主として防災上の配慮を要する方々が利用する施設です。

※このハザードマップは、小川・おごえ川のみの浸水想定区域を表示しています。岩田川など他の河川の浸水想定区域は、別途それぞれの洪水ハザードマップを作成していますのでそちらをご確認ください。
※土砂災害警戒区域については、別途土砂災害ハザードマップを作成していますのでそちらをご確認ください。

洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、高潮ハザードマップ、内水ハザードマップ、地震防災マップ
https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/sp/contents/1489556146841/index.html

種別	名称	住所	電話
災害対策関連施設	危機管理部防災室	津市西丸之内23-1	059-229-3104
警察署	津警察署	津市丸之内22-1	059-213-0110
消防関連施設	中消防署	津市寿町14-20	059-226-2580
消防関連施設	西分署	津市一色町257	059-253-6771
救急告示医療機関	医療法人 永井病院	津市西丸之内29-29	059-228-5181
救急告示医療機関	医療法人 愛誠会 若葉病院	津市南中央28-13	059-227-0207
救急告示医療機関	医療法人 同心会 遠山病院	津市南新町17-22	059-227-6171

一時避難場所（洪水時に避難可能な施設）

名称	所在地
<津地域>	
高西寺	半田1936
智円寺	野田1501
天理教津大教会	岩田22-18

指定避難所

名称	所在地	洪水	土砂	地震	津波	高潮
<津地域>						
神戸小学校	神戸332-1	○	○	○	※	○
津市青少年野外活動センター	神戸1680-1	○	○	○	○	○
新町小学校	八町三丁目3-1	○	○	○	○	○
西橋内中学校	東古河町7-1	○	○	○	※	○
養正小学校	丸之内養正町14-1	○	○	○	※	○
修成小学校	修成町9-1	○	○	○	※	○
学校法人セントヨゼフ女子学園（第一体育館・第二体育館）	半田1330	○	○	○	○	○
三重県立津工業高等学校	半田534	○	○	○	※	○
橋南中学校	上弁財町津興2537-4	○	○	○	※	○
南が丘会館	垂水2882-1	○	○	○	○	○

○…開設する　×…開設しない
※…津波警報など発表時に、津波避難ビルとして一時的に逃げ込むことはできますが、一定期間避難生活をする避難所としての利用はできません

指定避難所 とは・・・
地震、風水害などの大規模災害に際し、避難した市民の皆さんを保護するための施設です。

一時避難場所 とは・・・
家屋倒壊、堤防の決壊などにより危険な場合に、一時的に立ち退いて危険を避ける場所です。

指定避難所、一時避難場所などの情報は、津市のホームページで随時更新しています。
https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/sp/genre/1489373525461/index.html